

敬老会

大朝自治会  
HAKO AND NEIGHBORS

特集

# 敬老会を考える

FUKUSHI

福祉

あさくち

ASAKUCHI

2012年11月

第24号

 社協だより

社会福祉法人 浅口市社会福祉協議会

- 本所 浅口市鴨方町鴨方73 TEL 0865-44-7744
- 金光支所 浅口市金光町占見新田751 TEL 0865-42-7308
- 寄島支所 浅口市寄島町16010 TEL 0865-54-3317
- カニ丸の家 浅口市寄島町16089-17 TEL 0865-54-3113

[www.fukushiokayama.or.jp/Asakuchi/](http://www.fukushiokayama.or.jp/Asakuchi/)

**会費は** **個人会費** 1口 1,000円  
**法人会費** 1口 3,000円

社会福祉協議会は、地域の皆様とともに福祉のま<sup>ち</sup>づくり、地域づくりを進めています。こうした地域福祉活動の財源は、市民の皆様からお世話になっている会費によって支えられています。

既に各自治会を通じて、お願いをさせていただいているところではございますが、本年度も皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。なお、強制的なものではありませんが、全戸加入を目標としています。何卒、ご理解、ご協力をお願いいたします。

平成23年度社協会費の実績

	会費実績	世帯数	法人数
鴨方地区	4,260,000円	3,917世帯	83法人
金光地区	3,125,000円	2,694世帯	68法人
寄島地区	1,668,000円	1,590世帯	24法人
合計	9,053,000円	8,201世帯	175法人

皆様から頂いた社協会費は次のことに使われています。(平成23年度の使途)

事業名	事業費
ふれあいいきいきサロンへの活動助成	3,720,500円
在宅介護者への支援(介護手当支給、介護用具貸出、活動支援等)	2,730,150円
一人暮らし高齢者への支援(給食サービス、布団丸洗い等)	1,813,060円
障がい児・者の地域生活支援(共済制度加入支援、行事活動支援等)	794,963円
小地域支え合い活動支援(福祉委員活動、地区社協活動支援等)	754,022円
広報誌発行(福祉あさくち発行、各地区への福祉かわらばん発行)	966,000円
合計	10,778,695円

上記事業費に対する会費の不足分は、共同募金より補填しました。

社協会費へのご協力をお願いします

誰もが安心して暮らすことができる 福祉のまちづくり



会員章を玄関に貼りましょう。

敬老会実態調査	データ	03
敬老会カメラルポ	写真	04
地区社協 みんなことしています	報告	06
お達者さん	連載	08
戦没者追悼式	報告	09
ボランティア啓発標語	表彰	10
みんなで食育	連載	11

もくじ

CONTENTS



# 地域をあげて、長寿を祝う

## 敬老会実態調査 敬老事業はどうあるべきか？

敬老会は、高齢者に感謝し長寿をお祝いする意味で、慰安する催しを言います。

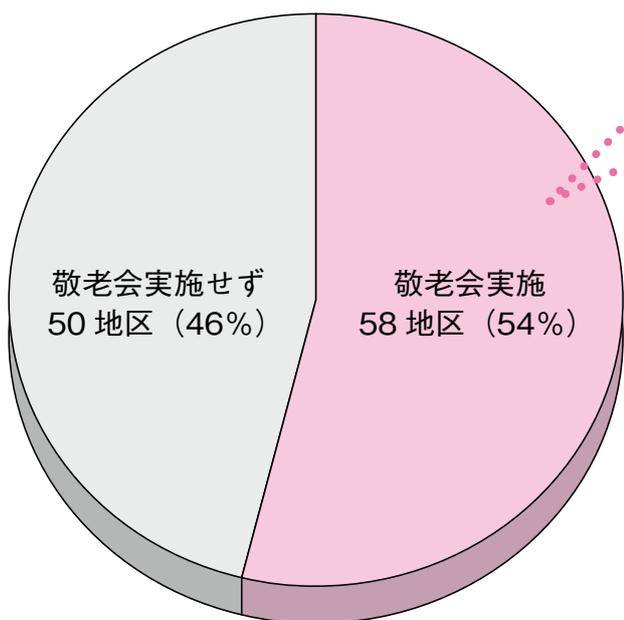
従来は市町村単位、または小学区単位で行われてきましたが、高齢化の進行による対象者の増加、高齢者や住民の価値観の多様化などにより、近年では様変わり<sup>①</sup>しています。今年の浅口市内の敬老会の実態をまとめてみました。 (調査協力：民生委員)

### 浅口市の敬老会への補助



- 対象者** 75歳以上の方（当該年度1月1日現在）
- 補助金** 物品等の配布のみを実施する地域 …… 一人当たり 1,700円
- 敬老会の催しを実施する地域 …………… 一人当たり 2,200円

### 敬老会 開催状況



#### 開催の場合（敬老会の内容 複数回答）

##### 敬老会「あり」の内容 (複数回答)

- 会食 44
- カラオケ 25
- ビンゴ 17
- 舞踊 12
- 講話 12
- （認知症、防災、福祉、  
消防、交通、健康 各2）
- 子どもとの交流 11
- 歌謡・合唱 11
- 手品 10
- 箏曲・大正琴 5
- 軽体操 4
- 寸劇 3
- フラダンス 3

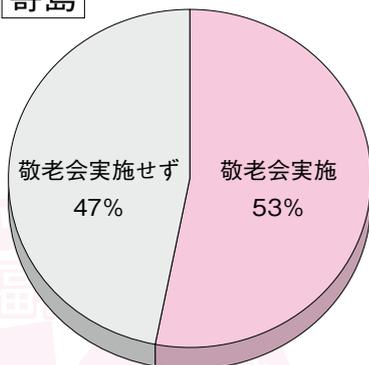
- 神楽 2
- ビデオDVD鑑賞 3
- ハーモニカ 2
- 太鼓・銭太鼓 2
- 紙芝居、グランドゴルフ、  
ハンドベル、南京玉簾 各1

##### 敬老会「なし」の内容 (複数回答)

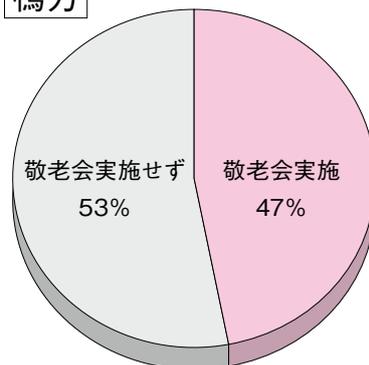
- 現金 32
- 商品券 13
- 記念品 8
- 弁当、赤飯 5
- 紅白饅頭、菓子 2
- メッセージなど 5
- その他 3

### 進む高齢化、苦慮する地域 暑い夏、10月実施も

#### 寄島



#### 鴨方



#### 金光





# 敬老会 カメラルポ



【寄島・宮通地区】  
声を出して童謡をうたいました。



【金光・上竹地区】歌謡ショーでもりあがる



【金光・福永地区】  
固唾をのむマジックショー



【金光・道木地区】  
子ども神楽に福を授かる

【寄島・片本地区】お祝いの品 贈呈



【鴨方・地頭明地区】  
みんなであわせてハンドベル



【鴨方・向月地区】  
「トランプが大きくなっちゃた」

【鴨方・町小路地区】寸劇に大爆笑

## 敬老会の歴史

兵庫県野間谷村（後の八千代町、現在の多可町）の村長が昭和22年に提唱した「としよりの日」が敬老の日の始まりである。「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて作りをしよう」と、農閑期で気候も良い9月中旬の15日を「としよりの日」と定め、敬老会を開いていた。ちなみに当時の日本の高齢化率は47%、まだまだ「若い国」で高齢者福祉という発想はない頃であった。

としよりの日・敬老会は、昭和25年から兵庫県全体で行われるようになり、後に全国に広がった。その後「としよりの日」という表現から、昭和39年に「老人の日」と改称され、翌年に野間谷村からの政府への繰り返し返しの働きかけもあり、国民の祝日「敬老の日」に制定された。

# 地区社協活動報告

こんなことしています



**地**区社協は、住民が地区の福祉課題や困りごとを自分たちの問題と受け止め、解決にむけて協議し「誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり」をめざす住民主体の活動団体です。

地域にはたくさんの組織や団体があります。町内会・区・コミュニティ・民生委員・愛育委員・栄養委員・福祉委員・PTA・子ども会・消防団・老人クラブ・商工会・ボランティア団体・施設や病院…。それぞれがバラバラに活動するのではなく、連携を図りながら諸問題を解決し、福祉の風土作りを進めていく活動をするのが、地区社協です。

今号では浅口市で地区社協を立ち上げている社協の具体的な活動を紹介します。

こんなことしています

## 佐方地区社協

(平成22年5月設立)



### 義援金に立ち上がる

昨年3月に発生した東日本大震災で、テレビの向こうで広がる甚大な被害に何かできないだろうかと地区社協役員で話し合い、佐方地区社協として義援金の募金活動を行うこととしました。

震災発生から一週間後にJ A岡山西金光直売所で、その後マルナカ金光店で地区社協役員を中心に街頭募金活動を、佐方地区内でも義援金を募り多くの方に協力をいただきました。

寄せていただいた義援金53万3千円を浅口市役所金光総合支所と浅口市社会福祉協議会に寄託しました。

地区社協は自由な発想で柔軟に活動を行うことができます。義援金活動に素早く取り組めたのも地区社協があったからだと思えます。

こんなことしています

## 上竹地区社協

(平成22年6月設立)



### 通学路を整備しよう

小学校の2学期の始まった今年の9月。区内を走る農免道に面した竹林の竹や草が夏休みの間に生い茂り、子どもたちの通学路である歩道を覆うほどになっていました。交通量が多い道路で、登下校の子どもがそれらを避けて通ろうとするとあまりに危険なため、気付いた地元の方が一人手作業で刈っていました。

その話を聞いた地区社協役員が「せっかく地区社協があるんだから」と地区社協会長に相談し、急きょ対応を検討。伐採作業を行うことを決めました。

さっそく翌日、地区社協の呼びかけで作業を行い、速やかに整備することができました。

地区内の生活(福祉)問題に柔軟に素早く対応できる「地区社協の良さ」を役員の方も改めて実感した出来事でした。

こんなことしています

## みどりヶ丘地区社協

(平成22年7月設立)



### 大盛況！健康体操

みどりヶ丘地区社協では、毎週月曜日の午前中に健康体操教室を開催しています。

地域の福祉向上は先ず、健康づくりからというスローガンで地区社協の事業として始めました。ストレッチ、筋力トレーニング、音楽に合わせたリズム体操などを30名から40名の参加者がコミュニティセンターで毎週行っています。途中で15分間のお茶タイムには、地域の話に花が咲き、笑顔の絶えない教室です。

指導者の老人クラブ会長の岸義照さんは、老人大学や医師の講演等で体操について学ばれ、市の包括支援センターの保健師さんのアドバイスを受けられたそうです。岸さんは「気がつくとも2年が過ぎていました。教室をはじめ2年が経ちますが、回をおうごとに参加者も増えて、地区社協のこうした活動が着実に広がっています。

こんなことしています

## 鳩ヶ丘地区社協

(平成23年6月設立)



### 自治会と合同で敬老会

鳩ヶ丘地区社協では、それまで自治会で開催していた敬老会を地区社協と合同で開催しています。

地区社協ができるまでは、自治会役員で準備していましたが、色々な顔ぶれが揃う地区社協と一緒に進めることで、いいアイデアが出たり、準備、進行などを手分けしてすることができるようになっています。

今年の敬老会は、日本でも有名なハーモニカ演奏の田辺氏をお招きし、素晴らしい音色や、昔なつかしい童謡を全員で合唱するなど、楽しい敬老会が開催できたそうです。

地区社協会長であり民生委員でもある横溝清延さんは、「自治会と地区社協が協力して開催することで、地域みんなまで長寿をお祝いするという気持ち、いままです以上に広がったような気がします。」と話されていました。

こんなことしています

## 八重地区社協

(平成23年8月設立)



### 独自の給食サービス展開中！

八重地区社協では、市社協の行う給食サービス（ふれあいお弁当）とは別に独自で、高齢者向けの給食サービスを行っています。

70歳以上の一人暮らしや高齢者世帯の方など現在15名の方が利用されており、料金は1食300円、毎月第3木曜日に行っています。

調理は地区社協役員でもある民生委員、福祉委員をはじめ、活動に賛同したボランティアの方も参加され、そのメンバーでお届けもしています。

献立も自分たちで考え、季節感を味わえるように旬のものを使うようにしています。また、地元の主婦が作ることで、できるだけ家庭の味つけになるように心がけ、利用されている方からも「なじみ深い味だからいいわ」と喜ばれています。



## かっこよくて評判のご主人!

笠岡市関戸の生まれで昭和16年ごろに主人と結婚し、翌年長男を出産。戦時中に主人の実家で百姓を手伝うようにと寄島にやってきました。主人とは見合い結婚でした。主人の一番上の姉が関戸に嫁いできていて、その姉の勧めで結婚することになりました。主人が私を初めて見たときに姉に「堪えて堪えられんことはない」と言ったそうです(笑)主人はオシャレで美男子だったのでうちの本家が「あんなええ男が敦子さんを嫁に?」とも。

私は寄島に来てからは麦や米などの百姓仕事をしていたのですが、主人は中銀で働いていました。とにかく愛想のよい人で周りから評判のよい主人でした。私にはずいぶんわがままでしたが、ご近所の方が「勇さん(ご主人)が出世したのは敦子さんのおかげ」と言ってくれて嬉しかったです。

50歳の頃、主人に言われて車の免許を取りました。免許を取った当時は50歳でも免許が取れるんだから皆取れると笠岡の自動車学校が宣伝していたくらいで。主人が車を買ってくれて、主人の退職後は春・秋と年に2回は主人と二人で旅行に行きました。神戸や大阪の都会にはさすがに出ませんが、四国や大山などいろんなところを二人で回りました。今ではいい思い出です。

## 昔からお転婆で

お楽しみ…は特にはないですが。サロンや会に行っているのが楽しみといえば楽しみ。普段は草取りをしていたり…最近はやらないけど昔は剪定を□ていました。松の木に登ったりもして、役場の人に「どこにおるん?」と声を掛けられ「ここじゃ〜」と木の上から答えることもしばしば。木登りも全然怖くなかった。思えば子供の頃からお転婆で小学校の先生には「手にあわん」と言われていました。私は口が立つからでしょう(笑)

## お元気の秘訣は子供の頃からの食事

子供の頃はとにかく父が砂糖が嫌いな人で…全然砂糖を使わせてくれなかった。だから友達の家で煮つけなんか自分とこと比べて甘くてびっくり。うちのは砂糖がホントに足りなかった。ダシに使ったイリコも残さず食べたり、エビも頭も皮も食べていました。嫁に来てエビを主人が剥いて食べているのを見て、剥いて食べるものなんだと。確かに剥いて食べる方がオイシイことはおいしかった。(笑)

でも、今の自分が元気で健康でいられるのは子供の頃から質素な食事をしてきたおかげだと思います。転んでも少々のことでは大丈夫だし、骨も丈夫です。子供の頃から甘いものばかり食べているとダメです。何でもよく食べることが大事。



## それゆけ! ボランティア

### 点字ボランティア「点とうむし」の巻

私たち、点字ボランティア「点とうむし」は、社会福祉協議会が発行している広報誌「福祉あさくち」や食事サービスの献立表を点訳して、視覚障がい者の方へお届けしています。また、市内の小・中学校へ点字体験の指導にも出かけています。

点字は、一度勉強して、時間さえかければ、誰にでも出来るボランティアです。あなたも一緒に点字を習ってみませんか。(11ページに点字入門講座のお知らせがあります)

## 市長式辞

清々しい白菊の薫る本日、平成24年度浅口市戦没者追悼式が、ご遺族をはじめ来賓各位のご参列を賜り、厳肅に執り行われるにあたり、浅口市戦没者1337柱のご英霊に追悼の恂を捧げます。

先の大戦において、我が国の安定と発展を願い、そして家族を愛し、郷土を愛しながら、その尊い命を国のために捧げられたご英霊に想いを馳せましますとき、深い哀惜の念が迫ってまいります。

ご遺族の皆様には、最愛の肉親をお国のために捧げられ、戦中戦後の苦難の道を精いっぱい生きてこられましたことに、心からの敬意とご慰労を申し上げます。

戦後日本は、ご英霊のご加護のもと、国民のたゆみない努力により、今日の平和と繁栄が築き上げられました。

浅口市におきましても、民意を市政の原点とし、市民と行政が共に歩むまちづくりを進め、浅口市に生まれてよかったと思えるよう、ご英霊のふるさとである浅口市の発展に尽力することを、ここにお誓い申し上げます。

67年前、300万人以上の尊い命が捧げられました。命の尊さと平和の大切さを、今を生きる私たちは決して忘れることなく、若い世代の心に引き継いでまいります。

本日ここにご英霊のご遺徳を偲び、その御霊の安らかならんことをお祈りするとともに、ご遺族皆様のご平安とご健勝を心よりお祈り申し上げまして式辞といたします。

平成24年9月29日

浅口市長 栗山康彦



## 市戦没者追悼式 平和への誓い 新たにする

今年初めて 中学生 参列

去る9月29日(土)、浅口市中央公民館大ホールにおいて、浅口市戦没者追悼式が執り行われました。浅口市出身の戦没者1337柱の英霊を追悼しました。

今年度初めて、市内の中学生22人が参列し、戦争の恐ろしさと平和のありがたさを体感しました。

私は、初めて追悼式に参加しました。少し緊張しましたが、今回体験したことを一生忘れないと思います。

市長さんのお話や、遺族代表の方のお話を聞いて、家族や友人を失ったつらさなどが伝わってきて胸が苦しくなりました。

いろんな方々のお話を聞いて、「戦争というものは、なんと多くの人の大切な人を奪ってしまったんだろう。」と思いました。多くの人々がもう二度とこのような辛くかないし思いをしないうために、私たちのような若い世代が今回のように追悼式に参加し、戦争の悲劇を知り、次の世代の人達が二度と戦争をおこさないように伝えていくことが大切だと思います。



### 戦没者追悼式に参加して

寄島中学校 3年 田中梨瑚

これからの未来、戦争の時代は過ぎ、戦争を体験したことを伝える遺族の方もいずればいなくなってしまうと思います。しかし、平和の尊さは、次の世代へ伝えることができます。そしてそれは、僕たちにもできることだと思えます。「平和という幸せ」を、親から子へ、子から孫へ、それぞれが次の世代に伝えていきたいと思えます。



### 戦没者追悼式へ参加してみて

鴨方中学校 3年 渡邊駿太

僕は初め、「戦没者追悼式」と聞いて、いったい何をするのか、どういふ人が参加するのか全くわかりませんでした。先生からは、「厳肅な式」とだけ聞いていました。

実際、参加してみても、礼服装の年配の方々がたくさんいらっしゃり、とても静かで厳かな雰囲気を感じました。式が始まり、いろいろな方々が話をされ、その後には菊の花を献花しました。

僕がこの追悼式で思ったことは、戦場へ行く兵士さんたちはもちろんですが、その家族の方々もとても心の強い人ばかりだということです。戦場へ行くのを見送ることはとても辛いことです。それを「頑張れ」と言って応援することは、もっと辛いことだと思います。そして、兵士さんとその家族の方々の、その辛さを乗り越えようとする力は、人としてとても強く大きなものだと思えました。

# ボランティア啓発標語

## 決まる

応募総数296件の中から

浅口市社会福祉協議会ではボランティア活動を二層推進する目的でボランティア啓発標語を募集していただきました。296件の応募の中から次の6件が各賞に選考されました。296件入賞作品は、本会の印刷物等に活用させていただきます。

### 最優秀賞

◆ 浅口の きずな深める ボランティア

内藤 有紀さん(鴨方町)

### 優秀賞

◆ ボランティア 君の笑顔で 頑張れる

友田 愛子さん(金光町)

◆ ふだんから 声掛けあつて 自助共助

原田 吉康さん(金光町)

◆ ほくだって 出来ますやります ボランティア

小田上 剛さん(寄島町)

◆ ボランティア 社会に小さな 灯をともし

岡辺 好敏さん(寄島町)

◆ こんにちは 今日も見たいね あの笑顔

川手 暉子さん(金光町)

## 表彰おめでとうございます

■ 10月11日岡山県総合福祉大会において、社会福祉事業に功績のあった方々が表彰を受けられました。

○ 岡山県保健福祉部長表彰

社会福祉功労(介護老人保健施設従事者)

・ 河田 清香さん(鴨方)

○ 岡山県社会福祉協議会長表彰

社会福祉協働者(感謝)

・ 藤林 節子さん(鴨方)

○ 岡山県共同募金会長表彰 奉仕団体

・ 金光教霊地少年少女会(金光)

○ 岡山県身体障害者福祉連合会長表彰

更生援護功労者

・ 岡本 郁枝さん(鴨方)

○ 岡山県母子寡婦福祉連合会長表彰

・ 井上 明美さん(鴨方)

■ 10月18日岡山県老人クラブ大会において、優良老人クラブ及び老人クラブ運営に功労された方々が表彰を受けられました。

○ 岡山県老人クラブ連合会会長表彰

《運営功労者》

・ 山本 徳久さん(鴨方)

《運営協力者》

・ 文谷 等さん(金光)

・ 松浦登美子さん(金光)

・ 中浜 孝巳さん(寄島)

・ 藤井 明さん(寄島)

《優良老人クラブ》

・ 鴨方東年輪友の会(鴨方)

・ 鴨方西地区老人福祉会(鴨方)

## 広告

### 浅口市に献血バスがまいります

11月29日(木)  
浅口市役所  
13:30~15:30



200ml献血は、十分確保できました。ありがとうございます。  
当日は400ml献血のみの受付になります。よろしくお願いします。

### 天満屋 浅口のパソコン教室

中高年・超初心者の方にとってもわかりやすいパソコン教室です!!

安心の個別指導  
自由に選べる受講時間

この広告見た方だけの………  
**特典 入会金が半額!!**  
通常 ¥10,000 → ¥5,000  
(11/30まで)

無料体験 実施中!  
PCらいふパソコンスクール  
浅口校 (0865)44-3131

#### おおすすめコース

60歳以上の方限定  
シニアコース  
1ヶ月6回 8,400円

30・40・50代の方限定  
スキルアップコース  
1ヶ月6回 9,800円

他にも通常コースもあります

# 篤志御礼

(平成24年9月30日まで)  
ご寄付ありがとうございました。  
地域福祉事業に有意義に使用させていただきます。

## 金光町

- 小幡 初枝さん(占見新田)より  
亡夫 哲二さんの香典返し
- 定金 隆文さん(須恵)より  
亡父 利正さんの香典返し
- 藤原 豊彦さん(大谷)より  
亡母 薫さんの香典返し
- 田中 頼雄さん(上竹)より  
亡父 義徳さんの香典返し
- 三近 基之さん(占見)より  
亡母 智恵子さんの香典返し
- 藤本 悟さん(下竹)より  
亡父 三郎さんの香典返し
- 阿藤 久枝さん(大谷)より  
亡夫 篤平さんの香典返し
- 大橋 保さん(八重)より  
亡父 正義さんの香典返し
- 唐川 秀男さん(占見新田)より  
亡母 好美さんの香典返し
- 安田 久志さん(地頭下)より  
亡母 自子さんの満中陰志

## 鴨方町

- 北村 哲さん(小坂西)より

- 亡父 秀夫さんの香典返し
- 亡母 愛子さん
- 米本 稔彦さん(鴨方)より  
亡父 収三さんの香典返し
- 田中 雄大さん(小坂西)より  
亡子 聖也さんの香典返し
- 襟立 當志一さん(深田)より  
亡母 美智恵さんの香典返し
- 大岡 繭平さん(みどりヶ丘)より  
亡子 一子さんの香典返し
- 森永 睦雄さん(六条院中)より  
亡母 敏子さんの香典返し
- 姫井 邦男さん(鴨方)より  
亡母 オキヨさんの香典返し
- 徳永 浩一さん(鴨方)より  
亡父 利明さんの香典返し
- 平井 光男さん(深田)より  
亡母 笑子さんの偲び草
- 石井 一成さん(小坂東)より  
亡祖母 貞子さんの香典返し
- 土屋 昌史さん(六条院西)より  
亡母 保恵さんの香典返し
- 豊岡 洋子さん(小坂東)より  
亡夫 稔規さんの香典返し
- 横溝 瑞枝さん(小坂東)より  
亡夫 康正さんの香典返し
- 山下 欣吾さん(六条院中)より  
亡父 初一さんの香典返し
- 柚木 淨子さん(六条院中)より  
亡夫 敏之さんの香典返し
- 岡田 貢さん(六条院東)より  
亡父 猛さんの香典返し

## 寄島町

- 松森 芳子さん(大浦)より  
亡夫 忠雄さんの香典返し
- 荒川 雅弘さん(鏡)より  
亡母 君子さんの香典返し
- 村上 信治さん(三郎)より  
亡父 等さんの満中陰志
- 川崎 正人さん(東安倉)より  
亡妻 初女さんの香典返し
- 岡本 哲郎さん(西安倉)より  
亡父 末虎さんの香典返し
- 高瀬 栄二さん(中安倉)より  
亡父 清さんの香典返し
- 出川 テイ子さん(西安倉)より  
亡夫 勝憲さんの香典返し
- 田中 宗徳さん(柴木)より  
一般寄付として
- 住吉 長寿さん(青佐)より  
一般寄付として

## みんなで食育!

### 月夜デンボロ 闇夜ガニ

寄島で古くから言い伝えられている言葉です。月夜(満月の頃)デンボロ(シャコ)に身が入って美味しい。逆にカニは月夜の頃は身が入っておらず、月のないころに獲るとよいという意味です。シャコもカニも寄島で獲れる海の幸です。カニ(ガザミ)は秋祭りから正月にかけてが旬で、寄島産は重宝がられています。

このような謎が残っているのも漁業とのかかわりが強かった土地柄からでしょう。



クイズの答えとともに「福祉あさくち」の感想をお寄せください

「ボランティアさんのふれあいお弁当をいただいている年寄です。本当に真心のこもったお弁当です。笑顔を添えて届けていただき、ただただ感謝しております。」  
鴨方町 小田さん

早瀬昇さんの講演録が載っていました。やはり楽しいお話だったようですね。以前NHKの教育テレビに出演していた方で、関西弁が楽しかった覚えがあります。  
鴨方町 山下さん

